

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2025 年 6 月 11 日	
(あて先) 姫路市長	
提出者 住 所 兵庫県姫路市別所町別所982	
氏 名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名) 友善生コンクリート株式会社 代表取締役社長 道岡 史明	
電話番号 079-252-8880	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事 業 場 の 名 称	友善生コンクリート株式会社(本社工場)
事 業 場 の 所 在 地	兵庫県姫路市別所町別所982
計 画 期 間	2025年4月1日から2026年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事 業 の 種 類	窯業・土石製品製造業
② 事 業 の 規 模	10億円
③ 従 業 員 数	27人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り(会社概要、組織図、図-1、図-2)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙の通り(会社組織図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(2024 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
	排 出 量	8632 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 前年同様納入現場と連絡を密にとり、発注の際に残コンが出ないようにしてもらいましたが、まだ現場都合による多めの出荷による持ち帰り及び残コンが多く、排出総量前年比約5%増。		
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
	排 出 量	7450 t	50 t
	(今後実施する予定の取組) 前年同様現場と連絡を密にし残コンの発生を抑え、多量に発生する場合は現場にて処理をお願いする。 打合せ段階で今までより徹底した管理を行い、前年比約10%以上の削減目標。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(2024 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
	全処理委託量	8632 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	8632 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	納入現場と連絡を密にとり、注文の際に残コンが出ないようにしてもらう。		

(第5面)

②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
	全処理委託量	7450 t	50 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 前年同様現場と連絡を密にし残コンの発生を抑え、 多量に発生する場合は現場にて処理をお願いする。 打合せ段階で今までより徹底した管理を行う。		
	※事務処理欄		